

授業科目 環境調整・福祉機器学

【担当教員名】 貝淵 正人		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	◎	
【概要・一般目標：GI0】 ADLを支援する基本的な福祉機器の種類、機能、必要な住宅環境改善の方法などを修得する。 代表的な義肢や装具について基本的知識を習得し、製品に積極的に触れ、正しく装着することができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. バリアフリーの考え方について説明ができる。 2. 生活環境とリハビリテーション関連機器について説明ができる。 3. 基本的な福祉機器を実際に使用することができる。 4. 代表的な義肢や装具などについて正しく装着することができる。 5. 住宅改修に必要な基礎知識を述べることができる。 6. 住宅改修の計画を立案することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	福祉機器とは バリアフリーとは			1	講義 貝淵
2	ADLと福祉機器の関係（ICFから考察する）			1・2・3	講義 貝淵
3	福祉用具（ベッド、車いす）			4	講義 貝淵
4	福祉用具（杖、自助具など）			4	講義 貝淵
5	住宅改修に必要な基礎知識（1）			5	講義 能村
6	住宅改修に必要な基礎知識（2）			5・6	講義 能村
7	住宅改修演習			5・6	講義演習 能村
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		生活環境整備のための“福祉用具” の使い方	窪田静、栄健一郎	日本看護協会出版会	2010・2,520円
参考書		福祉用具専門相談員研修用テキスト	シルバーサービス振興会	中央法規	2012・3,675円
その他の資料		随時プリントを配布します			
【評価方法】 (1) 出席2/3以上 (2) 期末試験60点以上 (1)でかつ(2)の場合合格とし、期末試験の結果を評価とします。			【履修上の留意点】 福祉用具を学ぶ貴重な機会です。製品について積極的にふれ、デモンストレーションに参加するように。		